

累計応募件数：313件 まちかど審査累計参加者：4177人

募集・周知活動

- ・チラシ・ポスターの配布
(市内施設 40 か所)
- ・市広報誌・HP・Facebook
- ・テレビ岸和田の番組と情報誌
過去の応募者へ郵送案内
- ・岸和田観光情報サイト「岸ぶら」



まちかど審査

- ・参加数の増加→啓発の拡大
- ・アンケートの実施
(景観に対する市民意識調査)



- ・応募者、まちかど審査参加者、アンケート回答者にオリジナルグッズ
贈呈→プロジェクトの周知を図る。

これまでの指定は51件

- ★樹木 15件
- ★みち 21件
- ★水辺 15件

景観重要樹木（府内初・H29.7月）

- ・こころに残る樹木景観に
指定されている樹木のうち、
指定要件を満たした樹木3本を
景観重要樹木に指定。
- ・景観重要樹木パンフレットの作成
(パブリック・リデザイン)



岸和田らしさを目指した景観形成ガイドラインⅠ

- ・主に大規模建築物に配慮を促し、
良好な景観形成に寄与するよう
策定。



★プロジェクトの概要★

景観形成の基本目標「豊かな自然環境と歴史環境が織りなす『個性的快適環境都市』の創出」を実現するためには、市民、事業者、行政が、総合的かつ多面的にお互いの立場を理解しながら協力し、優れた景観をまもり、はぐくみ、つくりだし、次の世代へつないでいく必要がある。そのため、景観啓発の取り組みとしてこのプロジェクトを平成24年度より実施。

★プロジェクトの流れ★

1. 募集・まちかど審査
写真とエピソードを募集。応募頂いた写真等を市内公共施設で巡回展示し、審査を行う。
2. 専門家による審査
まちかど審査の結果を踏まえ、本市景観形成への効果等について現地調査等を行い、市長に推薦する景観資源を決定。
3. こころに残る景観資源として指定
専門家から推薦された景観資源を市長が指定。

★プロジェクトの取組（展開と効果）★

展示、HPのPRに加え、オリジナルグッズの配布や他団体と連携するなど、様々な方法でプロジェクトの拡がりを図り、岸和田らしい景観形成へ展開。

★プロジェクトの深化★

- ・地域が主体的に景観の核となる資源を発掘し、その情報を蓄積、共有していくことは、人を惹きつける固有のストーリーとなり、景観に魅力を付け加えたり、裏付けたりする手段として有効。
- ・地域に係る人々の誇りの醸成と地域価値の向上が相俟って、多面的な地域ブランドとして来訪者増加など地方創生につながる「良き循環」による効果の発現も期待。

市HP・市政だより・広報きしわだ

- ・ちきちきウォーク
ちきりくんが指定資源を巡り
HPで紹介。



- ・市政だよりの放送や特集記事の掲載

パネル展示・冊子の配布



下水道フェスティバル、府民センター、私の水辺大発表会、市役所ロビー
自然資料館、図書館、まちづくりの館（AR 実証実験）

メディアでの情報発信（テレビ岸和田など）



【スライドショー】 【DONちち】 【番組ガイド誌「Vision」】

その他



おおさか景観.com、Facebook、HP、オリジナル啓発グッズ配布
Instagram、岸ぶら、教育センター研修教材、ボランティアガイド、
まちライブラリー、和歌山大学岸和田サテライト（GISデータの作成）

今後の展開へ…

『まちあるき』
資源へのアクセス情報など、活用
いただけるよう冊子などを作成。



『景観学習教材』
出前講座や教育機関での
利用を想定し研究中。